

未来への軌跡

2009年6月1日

レポート補習!!

5月25日(月)からおよそ1週間、生徒たちはレポートを既定の枚数終わらせるために登校しました。生徒によっては一日に7,8枚終わらせてから帰るといったケースも珍しくありませんでした。

学校に来て1年以上経ちましたが、複数の生徒が締切間近に焦ってレポート作成に取り組むのが現状です。期限内に提出してくる生徒もいます。アルバイトや友人との付き合いも大切ですが、期限内にレポート作成に取り組み、余裕を持って提出できるように生徒たちを育てる事が私の課題です。

ご家庭でもご協力の程よろしくお願いたします。



Let's キャッチボール

ここ最近、一部の生徒たちの中で小さなブームになっているものがあります。それはキャッチボールの合間や授業が終わった後の時間を使って、「キャッチボール」をすることが流行っています。教職員も混じってよく行うのですが、「生徒達は誰かと一緒に体を動かすことがあるのだろうか」と最近よく思います。キャッチボールという何気ないことですが、話すコミュニケーションではありませんが、我々と生徒たちとを繋ぐ重要なコミュニケーションツールになっています。「一緒に体を動かす。」相互理解への第一歩だと感じました。



人と人をつなぐ距離...

人と人の距離感を理解するという事は、大人でも難しいのが事実です。ましてや当事者同士の性格や世代が異なれば言うまでもありません。

新学期が始まり 2 ヶ月がたち、新入生や転入生が増える中で生徒たちの色合いも増えています。お互いの性格を理解していく中で、先生と生徒や、生徒間で生じるトラブルは生徒が増えていく過程の中では、当然学校現場では避け難いのが現実です。



生徒たちは性格が異なるのは勿論ですが、日々成長して考え方も変わってきています。この学校に単位取得のみを求めてくる生徒もいれば、仲間とのつながりを求めてくる生徒もいます。そんな中指導するにあたり、一概に「これをしろ」という事はできません。

私自身つつい良かれと思ってしている事でも、押し付けがましくなってしまう、それが逆に生徒から反感をくらす事も度々あります。それは、私自身がその生徒との距離がつかめていないところにあるからです。



ただ、無関心だけは決して無いようにしています。生徒から何かしらのヘルプのサインが出ている時には、早く気づき対応できるように心がけているつもりです。

それは、この学校の先生方はみな同じです。

生徒とのアプローチの仕方は十人十色でとても楽とはいえませんが、まずは相手がまずどんな状態かと気づくことが一番重要だと思っています。それから、その生徒とどのように距離を保った上で話しかけるかを考えながら指導する事を心がけていきます。